

[スズキ] デュアルセンサブレーキサポート (例: スイフト ZC83S)

- ・軽い衝突でもデュアルセンサブレーキコントローラの軸ずれを起こす可能性がありますので警告灯の点灯やインフォメーションディスプレイに「システム点検」や「一時機能停止中」の表示が無い場合でもこの作業を行って下さい。
- ・デュアルセンサブレーキコントローラにエーミングターゲットの反射光が当たらない様にして下さい。

- 注意:**
- ・作業は十分な明度が確保できる屋内で行って下さい。屋外でしか行えない場合は日光が車両の前後方向から入射しない場所で行って下さい。
 - ・車両前方 5m 程で水平な場所を確保し作業を行って下さい。
 - ・デュアルセンサブレーキコントローラのレンズ部分は清掃する事が出来ない為、傷や汚れが付着した場合はデュアルセンサコントローラの交換が必要になる為、取扱いには十分に注意を払って下さい。

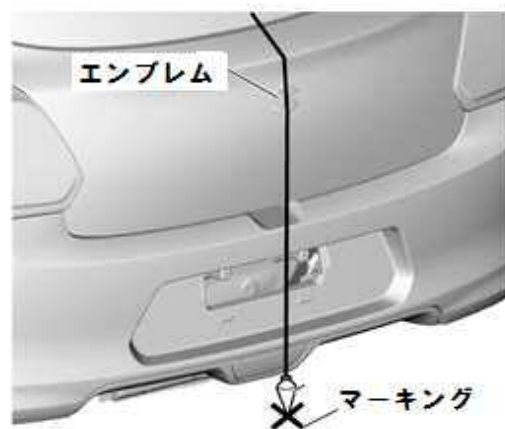
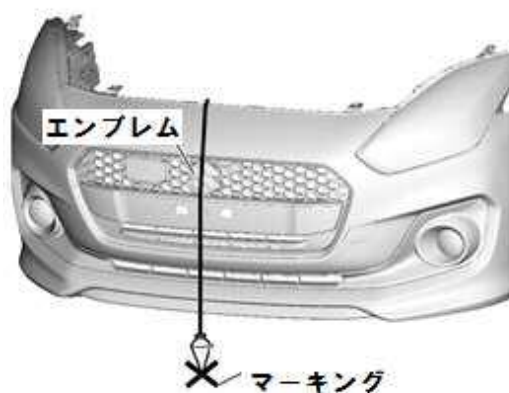
- 参考:**
- ・ヘッドライトが消灯している状態で作業を行って下さい。
 - ・タイヤの空気圧を規定圧に調整して下さい。
 - ・車室内の荷を全て降ろし、空車状態にして下さい。
 - ・デュアルセンサブレーキコントローラ付近のフロントウインドシールドガラスを清掃し、水滴や汚れを除去して下さい。

手順/操作

● デュアルセンサブレーキサポート ※一部イラストは整備書より引用しております

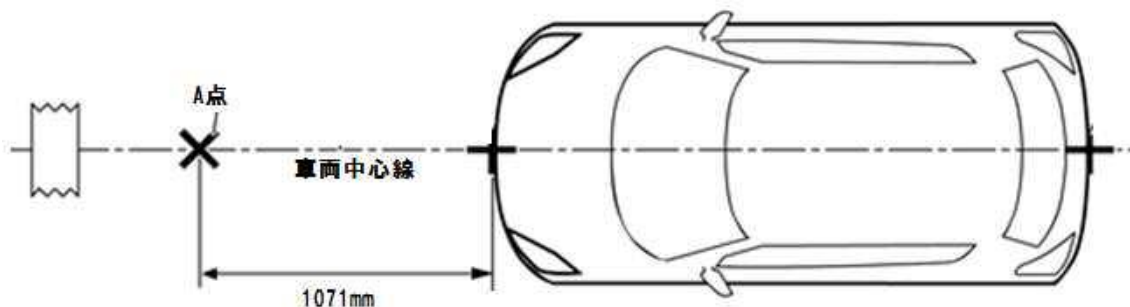
車両前端及び後端のエンブレム中心を通る様に重りのついた糸を床面に垂直に垂らし接地点をマーキングして下さい。

1.



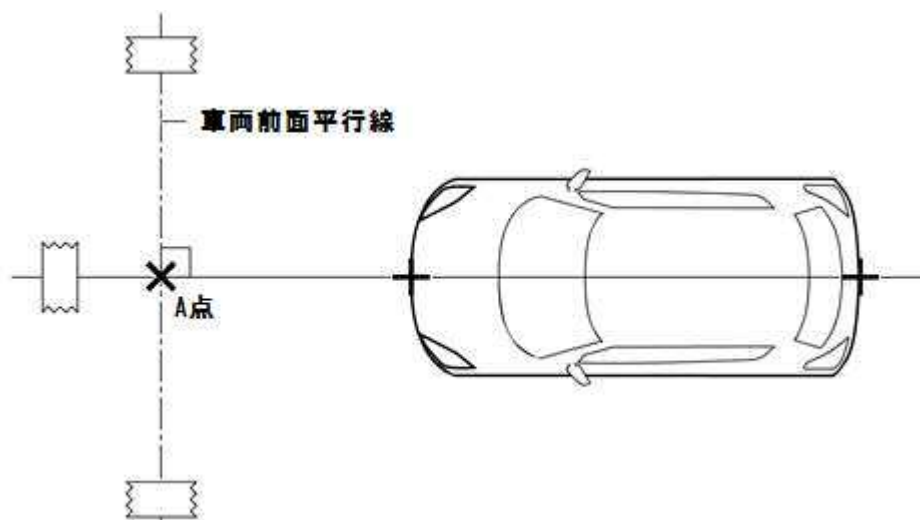
2.

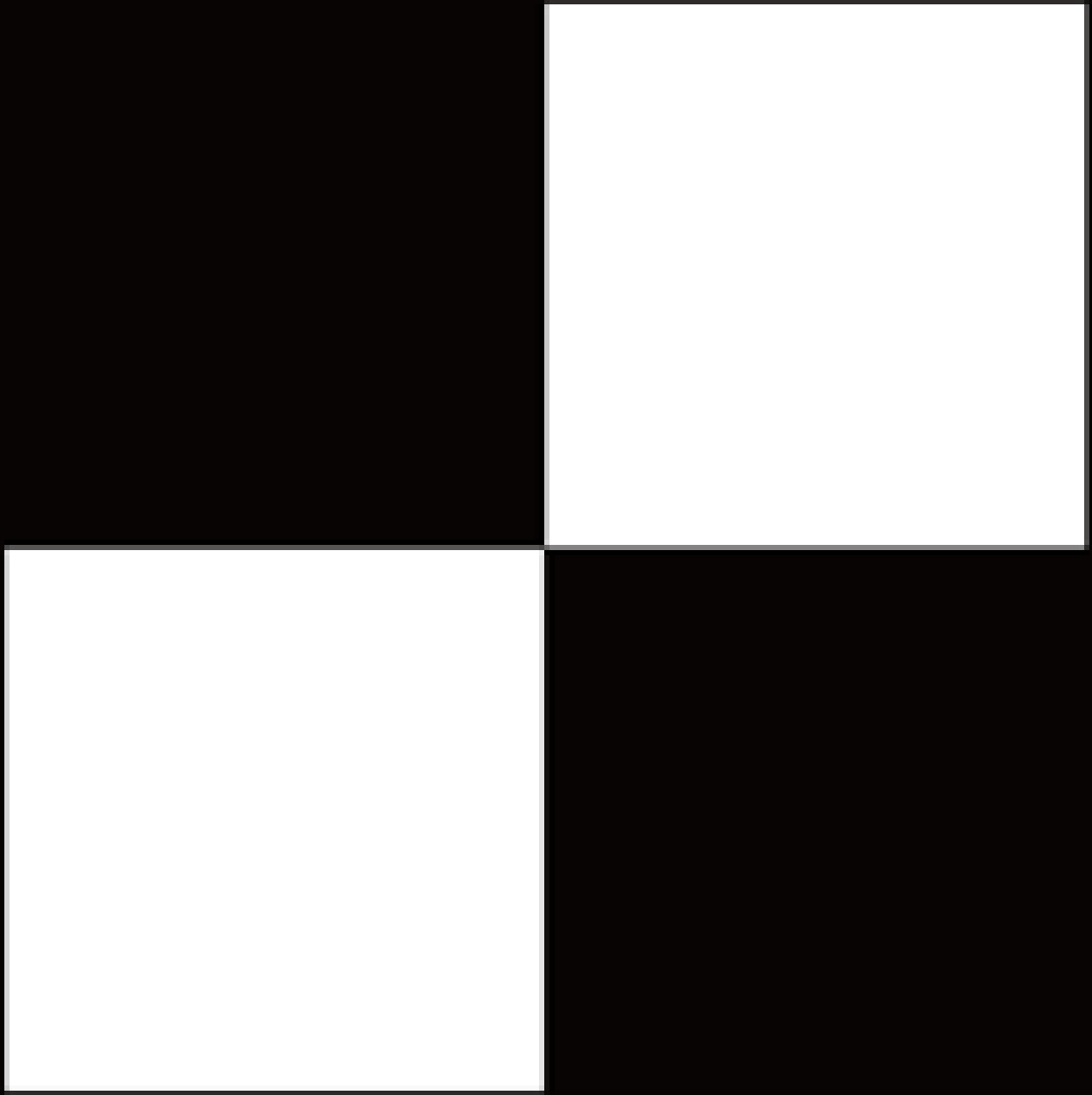
先程マーキングした車両後端から前端を結ぶ様に糸を車両前方へ張り出し、車両中心線を設定し固定して下さい。車両前端マーキング位置から 1071mm の位置にマーキングして下さい。ここを A 点とします。



3.

A 点上を通り車両中心線と垂直に交わる様に糸を張って固定し、車両前面平行線を設定して下さい。





4.

エーミングのターゲットを 210mm×210mm (±5mm) のサイズになる様にプリンターの設定や用紙サイズを変更し 2 枚印刷して下さい。

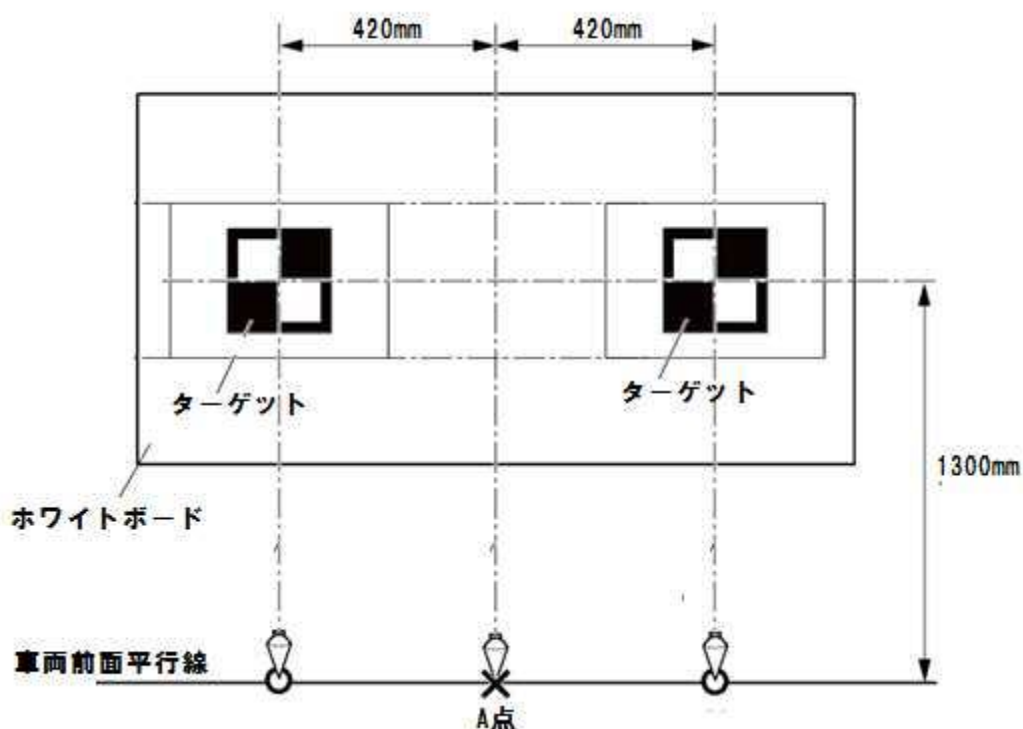


5.

ホワイトボードの中心を選定しその中心が A 点直上に来る様、車両前面平行線上にホワイトボードを設置して下さい。

ターゲットを貼りつける際、重りのついた糸をターゲット中心に垂らし下図の既定位置へ両面テープ等で裏側から正しくホワイトボードに貼りつけて下さい。

※黒色の部分が右上に来る様にターゲットの向きに気を付けて下さい



<p>6.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、MTG2000-S を車両に接続して下さい。</p>																			
<p>7.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にして下さい。 (ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 2 回押します)</p>																			
<p>8.</p>	<p>『メーカー選択』から[国産乗用車]-[スズキ]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p>	 <table border="1" style="background-color: #333; color: #fff; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">メーカー選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マツダ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	メーカー選択		国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
メーカー選択																				
国産乗用車	トヨタ/レクサス																			
輸入車	日産/インフィニティ																			
国産トラック	ホンダ/アキュラ																			
OBDII	三菱																			
HV整備モード	スズキ																			
	ダイハツ																			
	マツダ																			
	スバル																			
<p>9.</p>	<p>『発売開始時期』から[2014年03月以降]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <table border="1" style="background-color: #333; color: #fff; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>発売開始時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014年02月以前</td> </tr> <tr> <td>2014年03月以降</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	発売開始時期	2014年02月以前	2014年03月以降															
発売開始時期																				
2014年02月以前																				
2014年03月以降																				

10.

車両の仕様に応じてそれぞれの項目を選択し
[ENTER]を押して下さい。

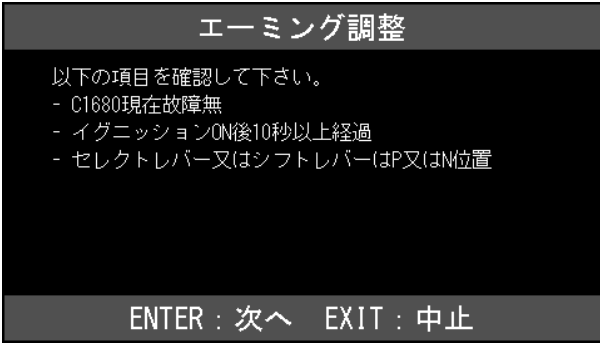
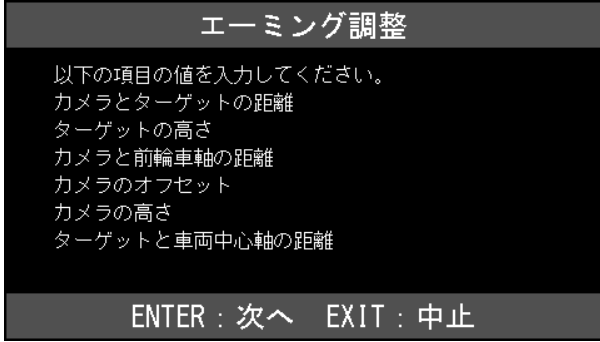

衝突被害軽減ブレーキ
DSBS (単眼カメラ+レーザーレーダ) 装着車
装備無し
ENTER : 選択 EXIT : 戻る

パドルシフトスイッチ
パドルシフトスイッチ有り
パドルシフトスイッチ無し
ENTER : 選択 EXIT : 戻る



仕向
日本
その他
ENTER : 選択 EXIT : 戻る

アイドリングストップ
アイドリングストップ有り
アイドリングストップ無し
ENTER : 選択 EXIT : 戻る

<p>11.</p>	<p>『スズキメインメニュー』から [作業サポート]を選択し[ENTER]を 押して下さい。</p>	
<p>12.</p>	<p>『作業サポート』から [デュアルセンサブレーキサポート]を選択し [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>13.</p>	<p>『デュアルセンサブレーキサポート』から [エーミング調整]を選択し[ENTER]を押して 下さい。</p>	
<p>14.</p>	<p>『エーミング調整』から[エーミング調整]を 選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p>15.</p>	<p>以下の項目を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C1680 現在故障無 ・ イグニッション ON 後 10 秒以上経過 ・ セレクトレバー又はシフトレバーは P 又は N 位置 <p>条件が全て整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>16.</p>	<p>以下の項目の値を入力してください。</p> <p>カメラとターゲットの距離 ターゲットの高さ カメラと前輪車軸の距離 カメラのオフセット カメラの高さ ターゲットと車両中心軸の距離</p> <p>次工程より上記項目を入力していきます。 内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>17.</p>	<p>カメラとターゲットの距離 単位 : mm</p> <p>入力値 : 2500.0</p> <p>上記値を[↑↓]を押して入力し[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p>18.</p>	<p>ターゲットの高さ 単位 : mm</p> <p>入力値 : 1300.0</p> <p>上記値を[↑↓]を押して入力し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>エーミング調整</p> <p>ターゲットの高さ</p> <p>1300.0</p> <p>単位: mm</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 戻る</p>
<p>19.</p>	<p>カメラと前輪車軸の距離 単位 : mm</p> <p>入力値 : 0637.0</p> <p>上記値を[↑↓]を押して入力し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>エーミング調整</p> <p>カメラと前輪車軸の距離</p> <p>0637.0</p> <p>単位: mm</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 戻る</p>
<p>20.</p>	<p>カメラのオフセット 単位 : mm</p> <p>入力値 : 0021.0</p> <p>上記値を[↑↓]を押して入力し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>エーミング調整</p> <p>カメラのオフセット</p> <p>+0021.0</p> <p>単位: mm</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 戻る</p>

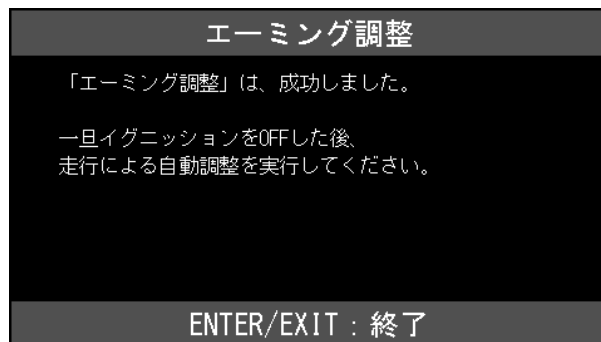
<p>21.</p>	<p>カメラの高さ 単位 : mm</p> <p>入力値 : 1319.0 (2WD) : 1344.0 (4WD)</p> <p>上記値を[↑↓]を押して入力し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>22.</p>	<p>ターゲットと車両中心軸の距離 単位 : mm</p> <p>入力値 : 0420.0</p> <p>上記値を[↑↓]を押して入力し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>23.</p>	<p>手順 17~22 で入力した値が反映されています。</p> <p>表示されている値に間違いが無い事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p> <p>エーミングが開始されます。</p>	

24.

「エーミング調整」は、成功しました。
一旦イグニッションを OFF した後
走行による自動調整を実行してください。

以上で MTG2000-S を使用してのエーミング
作業は
完了となります。
[EXIT] を数回押し『スズキメインメニュー』
まで画面を戻しイグニッションが OFF に
なっている事を再確認し MTG2000-S を安全
に取り外して下さい。

イグニッション OFF の状態を 10 秒以上
保持して下さい。



25.

手順 6~14 と同要領の操作を行い
『エーミング調整』画面を表示させ
[データモニタ] を選択し [ENTER] を押して
下さい。



26.

『データモニタ』から[エーミング実施状態]が
「実施済」になっている事を確認して
下さい。

「未実施」になっている場合は
再度[エーミング調整]を行って下さい。



27.

[自動調整実施状態]を「実施済」にするためには走行テストを行う必要があります。
以下の条件のどちらか、または全てを充たすまで走行テストを行って下さい。

走行テストは道路交通法を厳守し行って下さい。

条件 A : 周囲の風景の移り変わりを使用

- ・ 車速 3km/h 以上で走行
- ・ 周囲の風景が単調でない道路を走行

条件 B : 両側白線を使用

- ・ 車速 60km/h 以上で走行
- ・ 両側に白線のある道路

※走行環境によっては調整完了まで長時間の走行が必要になる場合があります。

一旦、イグニッションを OFF にしてから再度 ON にし[自動調整実施状態]が「実施済」に変われば以上で全作業完了となります。

[EXIT]を数回押し『スズキメインメニュー』まで画面を戻しイグニッションを OFF にしてから安全に MTG2000-S を取り外して下さい。

